

ETB

電気三輪車 海 神 取扱説明書



モ ー ビ ル ジ ャ パ ン株式会社

〒983-0013

宮城県仙台市宮城野区中野 5 丁目 5-12

TEL:022-355-9591 FAX:022-355-9592

モービルジャパンの電気トライクをお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書にはお買い上げ頂いた車の正しい取扱方法や安全な運転のしかた。

日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。

車は万一取り扱いをあやまると重大な事故や怪我、トラブルの原因になります。

車の正しい取扱をご理解いただくため運転される前に必ず本書をお読みください。

本書では、正しい取扱および点検整備に関する重要な事項を下記シンボルマーク表示します。



安全にかかわる注意情報を示してあります。



取扱を誤った場合、死亡又は重症に至る可能性が想定される場合を示しています。



取扱を誤った場合、傷害にいたる可能性または物理的損害の発生が想定される場合を示しています。

安全に留意し快適なドライブライフをお楽しみ下さい。

お車の引渡しについて

★ お買い上げになりましたなら、モービルジャパンまたは、その取扱店にてこの取扱い説明書を受け取り、下記の説明を受けてください。

- お車の正しい取り扱い方
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 保証書の記入・捺印

運転免許について

★ 電動三輪車を一般公道で運転するには、普通車の運転免許が必要です。ご自身の免許で運転できるか確認してください。

★ この電動三輪車を運転できるのは、**普通車免許**です。オートマ免許でも可能です。

★ この電動三輪車の乗車定員は2名です。

取扱説明書について



- ★ この取扱説明書には、電動三輪車の取り扱いかた安全な運転方法、簡単な点検の方法などについて説明して有ります。
- ★ 車の取り扱いかたを十分にご存じの方も、電動三輪車独自の装備や取扱いが有りますので、運転する前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
- ★ 電動三輪車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書を、お渡し下さい。
- ★ 電動三輪車の仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容と実車が一致しない場合が有ります。ご了承下さい。
- ★ 取扱説明書は常時大切に保管してください。

尚、不明な点がありましたなら、モービルジャパン又はお買い上げになりましたモービルジャパン取扱店まで、お問合せ下さいますようお願い致します。

※仕様変更などにより写真や内容が実車と異なる場合があります。

安全運転のために

心のゆとりと正しい服装が安全運転のきめ手です。

焦らずにゆとりを持って、道路交通法を守り落ち着いた運転を心がけましょう。



- **警告** 運転者、搭乗者のヘルメットの着用義務は法的にはありませんが、安全のために着用しましょう。ヘルメットの着用は、アゴヒモを確実に締めるなど、正しく行って下さい。
ヘルメットは、安全規格をクリアしたSG、JISマークのついたもので頭にしっかりと合って圧迫感のない物をお選び下さい。
ヘルメットを正しく着用していないと、万が一の事故の場合、死亡又は重大な傷害に至る可能性が高くなります。



- **注意** 運転者、搭乗者は乗車する時、保護具及び保護性の高い服を着用してください。くるぶしまで覆う靴の着用。摩擦に強い皮製の手袋の着用。長ズボンと長袖のジャケットの着用、明るく目立つ色の動きやすい服装で尚且つ体の露出の少ない物を着用してください。裾の広いズボンや袖口の広いジャケットは、ブレーキ操作などの運動動作の妨げになり思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。

運転する前に

- 日常点検を行って下さい。

電動三輪車は常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。

日常点検は、電動三輪車を使用する方が1日1回運転する前に実施する点検です。

安全快適にお乗りいただくために必ず実施してください。

この車に適用される点検項目は、下記「日常点検項目」抜粋です。

本書 23 頁「日常点検」に基づいて実施してください。

日常点検項目

- ブレーキ
 - ・ ブレーキレバーの握りしろが適切であること
 - ・ ブレーキの効きが十分であること
- タイヤ
 - ・ タイヤの状態が適切であること
 - 空気圧・亀裂、損傷・異常な磨耗・溝の深さ
- 灯火装置及び方向指示器
- 運行において異常が認められた箇所
- バッテリー（モービルジャパン指定点検項目）
 - ・ 充電電圧 バッテリーの充電が適正かどうか確認してください。

荷物

-  **注意** ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作が出来なくなる場合が有りますので物を置かないで下さい。
- ヘッドライトレンズの前を荷物等で遮らないようにしてください。過熱によりレンズが溶けたり、荷物等まで損傷する場合があります。
- 石や鉄片など、硬くて重い物を入れたまま走行しないで下さい、積載重量以内でもトランク本体や車体が損傷する場合があります。
- 荷物は指定の場所以外には積まないようにしてください。カバー等が破損することが有ります。

乗り方について

-  **警告** メインスイッチの操作は、座席に腰を掛けて、安全を確認してから操作してください。
- 走行中は、運転者は両手でハンドルを握り、両足をフロアステップに置いて下さい。

-  **警告** 後退時は周囲の安全を確認し特に後方に注意し低速にて運転してください。
- 急激なハンドル操作や、片手運転は危険ですので避けてください。
- 走行中の携帯電話の使用はお止め下さい。使用の際は安全な場所に停止してから使用してください。
-  **注意** 急激なスロットルの開閉操作（スナッピング）は故障の原因となります。

駐車

- サイドブレーキを掛けてから。 盗難防止の為、キーを抜いてください。
- メインスイッチのキーは必ずお持ち下さい。
-  **注意** 水平でしっかりした地面の場所に駐車してください。
- 交通のジャマにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。
- やむを得ず傾斜地や砂利等を敷いた所、でこぼこな所、地面の軟らかい所等に駐車せざるを得ないときには、転倒・動き出しの無いように、安全処置に十分留意してください。

交換部品

-  **警告** 交換部品は純正品を使用してください。モービルジャパン又はモービルジャパン取扱店にご用命ください。

改造

-  **警告** 車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることは勿論、他の迷惑行為となります。
- このような改造に起因する場合は、保証修理等受けられません。

地球環境の保護について

お車及び部品などの廃棄をするとき

- 地球環境を守る為に、使用済みのバッテリーやタイヤ等はむやみに捨てないようにしてください。これらの物を廃棄する場合、モービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店にご相談下さい。また、将来お車を廃棄する場合も同様です。お

車の廃棄を希望するときには、お近くのモービルジャパンもしくはモービルジャパン取扱店にご相談下さい。

バッテリーの取り扱いかた



バッテリーの保管、及び使用は周囲温度が -10°C 以下、又は 40°C 以上では行わないで下さい。

充電するときは、周囲温度が 0°C 以上 30°C 以下で風通しの良い直射日光の当たらない場所で行うようにしてください。

温度範囲以外ではバッテリーの破損、変形、早期劣化等の原因となります。

バッテリーは、密閉式のメンテナンスフリーバッテリーを使用していますので液の補充等は必要ありません。むやみに上蓋を開けないようにして下さい。

バッテリーは、メインブレーカが「OFF」の状態でも、多少の自己放電をしていますので、使用しない場合でも1ヶ月に1～2回充電し常にフル充電して置いてください。

外気温が低い場合、バッテリーの性能が十分に引き出せない場合があります、走行距離が短くなったり、速度が出ない場合があります。

バッテリーの交換、修理、メンテナンス等が必要な場合は、モービルジャパン又はモービルジャパン取扱店に相談してください。

取り扱い方法

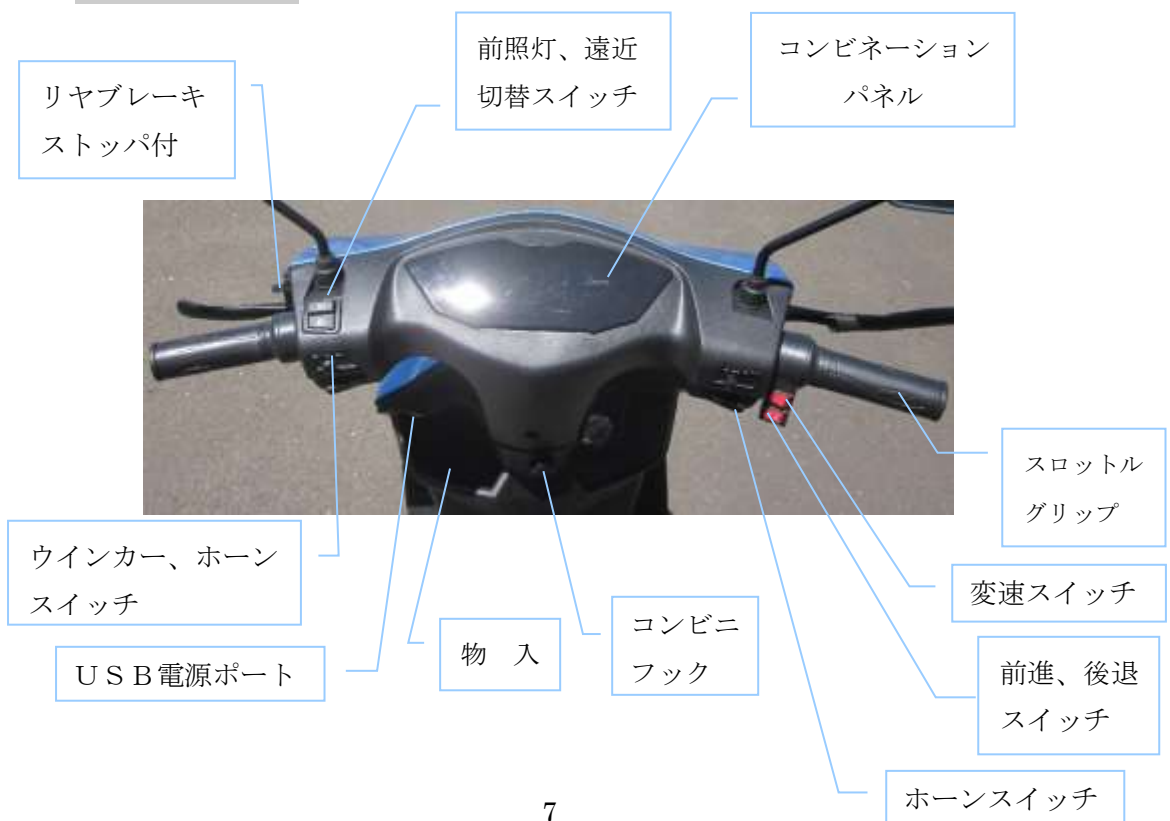
● 各部の名称



※本書にある写真「ボックス」はオプション品です。



● メーターパネル



● コンビネーションパネル

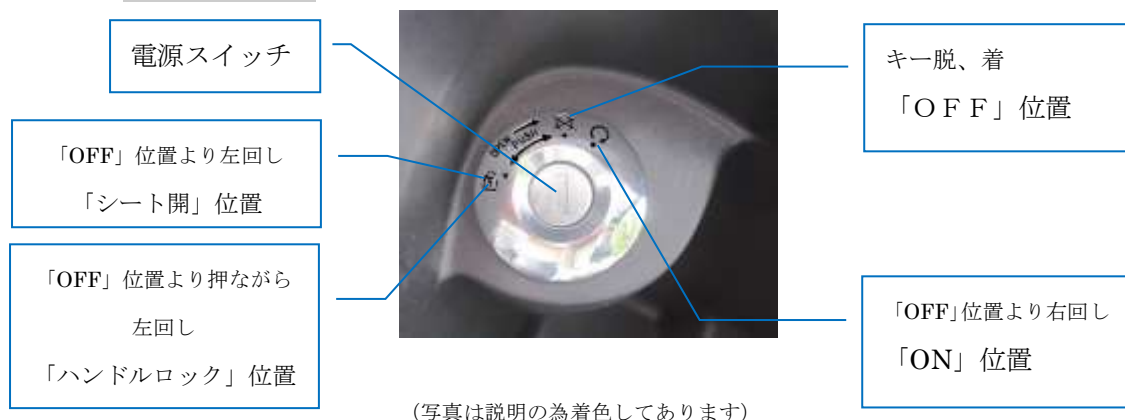


- ・ 走行中の速度を示します。法定速度を守り安全走行してください。
時速(Km/h)で表示します。
電源投入直後或いはアクセル操作しない状態が約 8 秒以上経過すると「P」が表示されます。この時はアクセル操作をしても走行できません。
ブレーキレバーを握って離すことにより前進の場合「00」が表示され或いは後進の場合「-0」が表示され前進、後進それぞれ走行可能状態となります。
- ・ 「後進」になっていると「P」、「-0」と表示され、「速度」の前に「-」が付記されます。
- ・ 積算距離計（オドメーター）
電源投入直後に表示されます。
走行した総距離を長さ(Km)で表示します。
- ・ 区間距離計（トリップメーター）
「P」が消灯し、走行可能状態になり 2 秒経過しますと「00000」積算距離計表示がバッテリー電圧表示、区間距離計表示に切替ります。
現在のバッテリー電圧 (V)、電源投入後走行した距離を長さ(Km)、でそれぞれ表示します。
- ・ 電池残量計
バッテリーの残量をゲージ（4 本棒グラフ）で表示します。
ゲージ目盛 3 ケ減り（1 ケになった）場合、充電が必要です。

走行中、負荷がかかった状態での表示がバッテリー電圧残量となります。

- ・ブレーキレバーを握っている間「ブレーキ表示」が点灯します。

● キースイッチ

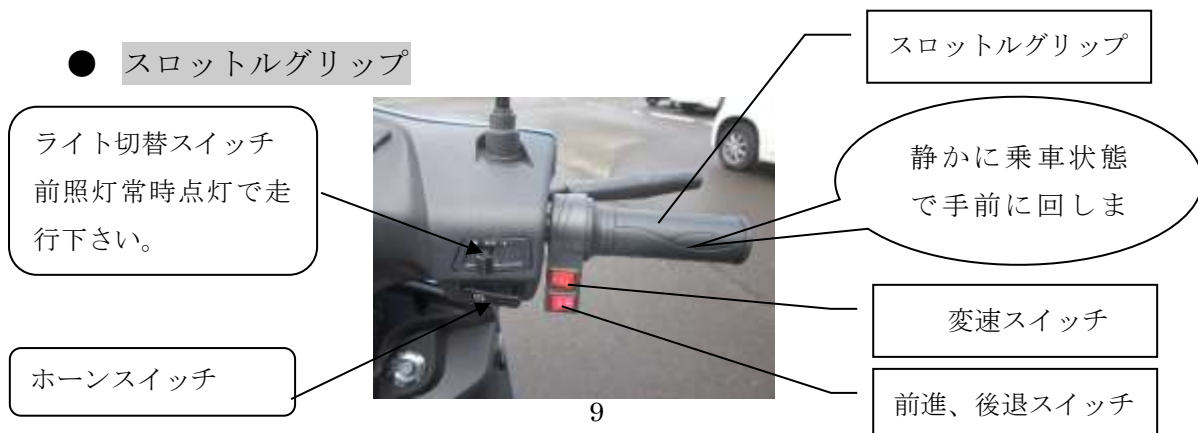


● 電源スイッチ

キーを差込み「OFF」－「ON」右へ回します。

- 「ON」：電源が入り走行出来ます。
 - 「OFF」：電源が切れます。キー差込、取り外しが可能です
- ※ 標準でキーは2本付いていますので、1本はスペアキーとして大切に保管して下さい。
- 「シート開」：「OFF」位置より左に回すと運転席を上方向に開けます。
 - 「ハンドルロック」：「OFF」位置より押込みながら左に回すとハンドルを固定できます。
- ※ ハンドルを左右にゆすると容易に固定できます。

● スロットルグリップ



- 静かに手前に回すとスタートします。
- グリップの回し加減で速度を調節します。
グリップを戻すと、速度が遅くなります。
- 急激なスロットルの開閉操作（スナッピング）は故障の原因となります。

● 変速スイッチ



「1」を押すとパネル表示は〔1〕 30km/hr 前後以下
 「2」を押すとパネル表示は〔2〕 40km/hr 前後以下
 「3」を押すとパネル表示は〔3〕 50km/hr 前後以下
 ※気温 25 度の測定値となります。
 ※速度は概ねの目安となります。

● 前進、後退スイッチ



「D」：「前進」します。
 「R」：「後進」します。

● 方向指示スイッチ



- 進行方向を変える時、右左折時などウインカーランプを点滅させます。運転者の進みたい方向を表示させます。
- スイッチを左右に押すとウインカーランプが点滅と同時にコンビネーションパネルに点滅表示します。
- ウインカー一点滅中に押し込むと解除されます。

● 前照灯スイッチ切替スイッチ

「手前側」：近め、「奥側」：遠め それぞれ切り替えます。

運転時（電源ONの状態）で前照灯は常時点灯としてください。

● ホーンスイッチ

- 自分のまわりに、存在を知らせます。
- ホーン スwitchを押すと鳴ります。放すと止まります。

● ブレーキ



サイドブレーキポスト
：ブレーキを引きながら
ポストを差し込みます

後輪ブレーキレバー

- スロットルグリップを戻してから、ブレーキレバーを握りますと停止します。
- 制動力を効果的に得るためには、前後ブレーキを同時に使用すると効果的です
- “はじめやんわり、あときつく”がブレーキの上手なかけかたです。
- 安全装置の為、**ブレーキレバーを握ったままでは、スロットルグリップを回しても、電動走行モーターは回りませんので発進は出来ません。**

● 座 席

運転席と後部座席は一体構造になっています。二人乗りの際後部座席に座る方は後部ステップに足を載せて乗車ください。

- 運転席下にバッテリーがあります。

● メインブレーカー

運転席下側にあります。故障などで電流が過負荷の時、自動で電源を遮断します。この時には手動で元に戻して下さい。長い上り坂では働く場合があります。ブレーカーが元の状態に戻らない時には、モー

ビルジャパンまたはモービルジャパン取扱店までご連絡下さい。

電源 [ON]位置



● 荷 台

荷台には手荷物をのせてください。

- *  **注意** キーをトランクに置き忘れた状態で扉を閉めるとロックされキーを取り出すことが出来なくなりますのでご注意ください。

● コンビニフック



積載可能重量は1kg迄です。

● USB電源ポート



USB機器の電源です。
DC 5V－1A供給可能です。

正しい運転方法

-  **警告** 電源スイッチを「ON」にする時には、座席に腰を掛けて、安全を確認してから行ってください。
-  **警告** 電源スイッチが「ON」になっていることを忘れてアクセルにふれると急に走り出し危険です。
-  **警告** 発進前に速度表示部の「00」に「－」が付記表示されているか否か必ず確認してください。思わぬ方向に走りだし危険です。（「－」が付記表示されている場合はアクセルを開くと「後進」します。）

運転操作に適正な運転姿勢となるように座る位置を調整、確認して下さい。バックミラーが後方の確認を出来るように調整、確認して下さい。

 - キーを差込み電源スイッチを「ON」にします。
 - バッテリー残量計で残量確認し、不足時は充電後使用してください。
- 発進走行
 - ブレーキレバーを一度握り、離し「P」を「00」に切替えてください。この時「前進」「後進」モードを確認してください。
「後進」の場合「－0」と表示されます。
 - 前後、左右の安全を確認して下さい。
 - スロットルグリップを手前にゆっくり回してください
 - スロットルグリップを急に回すと急加速して危険です。
 -  **警告** 走行中は、電源スイッチを切らないで下さい。
 - カーブ走行の時は、スピードの出し過ぎに十分注意して下さい。
- 正しい走り方
 - スタート前に方向指示器スイッチで合図を出し、後方の安全を確認してからスタートしてください。
 - 速度調整は、スロットルグリップで行います。
 - 手前に回すと速度は速くなりますがゆっくり回してください。戻すと速度は遅くなります、すばやく戻してください。

- 不必要な急ブレーキは避けて下さい。タイヤをロックさせ車体の安定性を損なう恐れがあります。

-  **警告** 雨の日や路面が濡れているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキを掛けるなど余裕を持って操作して下さい。
- 下り坂では、スロットルグリップを戻して、速度に応じてブレーキを掛けながらゆっくり走ってください。
- 連続的なブレーキ操作を避けて下さい。ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなる恐れがありますので避けて下さい。

-  **警告** 水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる事があります。
水たまりを走行した後などは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意し、低速走行にてブレーキの作動確認をして下さい。もし効き具合が悪い時はブレーキを軽く作動させながら、しばらく低速で走行し ブレーキを乾かして下さい。

-  **警告** 車道から歩道への乗り継ぎのように段差を斜めに走行する場合は車体が傾き横転の可能性がありますので十分に減速し、注意してください。



前車輪です、静かにブレーキを掛けて、濡れた状態を乾かしてください後輪も同じで

- 雪道や凍った道はすべりやすので十分に気を付けて、走行しましょう。
- 止まる地点が近づいたら早めに方向指示器スイッチで合図し、後方や側方の車に注意し、徐々に左によります。
- スロットルグリップを戻して、早めに左右のブレーキレバーを引

きブレーキを掛けましょう。

制動灯（ストップランプ）が点灯し、後車への合図になります。

- 坂道途中発進の場合ブレーキ解除タイミングとアクセル開き加減を上手く合わせて発進してください。

ただし、発進時ハンドル部のブレーキレバーを握りブレーキ作動していますと安全装置が作動し発進できませんので注意してください。

停止 及び 駐車

- 押して移動する場合はキースイッチをOFFにしてください。
- スロットルグリップを戻してブレーキレバーを握ります。
- 正しい駐車のしかた
 - 完全に車が止まったら、サイドブレーキを掛け、方向指示器スイッチを戻し、電源スイッチのキーを「OFF」の位置にし、キーを抜きます。



警告 走行中キースイッチ操作すると、思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず停車してから操作して下さい。

-  **警告** 電動三輪車は無音、無振動です。電源スイッチが「ON」になっている事を忘れて、アクセルに触れると走り出す危険がありますので駐車時はキーを抜いてください。
- 駐停車は交通の邪魔にならない、できる限り水平堅土に駐車してください。やむを得ず止められない場合は不意な動き出し、転倒のないようにしてください。

充電のしかた

- 車体充電口で充電する場合



充電口シャッター

充電口(3 極)



- 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。
- ブレーカーを「OFF」にします。

- 充電器の充電コードを取り出し、充電ケーブルを充電口（3 極）のシャッターを上を開けしっかり奥まで差しこんでから、片方のコネクタを家庭用の AC100V コンセント（2 極）に差し込んでください。
- ブレーカーを「ON」にしてください。
※ブレーカーを「ON」にしないと充電できません。

●車体から取り出して充電する場合



- 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。
- シートロックの施錠を解除し座席を持ち上げます。
- ブレーカーを「OFF」にします。
- 充電池側コネクター、車体側コネクターのそれぞれ筐体をしっかり握りコネクタを引抜きます。
（決してケーブルを引っ張らないでください。） リチウムバッテリーを車体から取出します。
- 充電器の充電ケーブルを取り出し、充電コネクタを充電口（3 極）のシャッターを開けしっかり奥まで差しこんでから、片方のコネクタを家庭用の AC100V コンセント（2 極）に差し込んでください。

●充電器



電源コネクタ

AC 100V へ 2P コンセント



60V・50AH 充電状態



充電コネクタ

バッテリー又は車体、充電口へ
3P コネクタ

●充電する時の共通注意点

- 充電時間は、バッテリーの状況、また気温等の環境により異なりますが、約 2～8 時間です。
- バッテリーが新しい時は、充電時間は約 8 時間掛かります。
- 充電が完了すると、充電機能は自動的に停止します。
- 各コネクタを抜く時は、ケーブルをもたずコネクタの先端をもって抜いて下さい。又コネクタの抜く順序は AC100V (2 極) を抜いてから充電口側コネクタを抜いて下さい。
- バッテリーは電源スイッチ「OFF」の状態でも、多少の自己放電していますので、1ヶ月に1～2回充電し常に満充電にしてください。
- バッテリーを車体格納後座席を元に戻す時は座席に手をかけて倒しトランクリックが「カチッ」と音がするまで確実にロックしてください。



-  **警告** 充電するときは充電器を接続したまま車体を動かさないでください。車体が転倒しケガをする恐れがあります。



警告 充電ケーブル、コネクタなどは電気製品ですので、差し込む際に濡れた手などで持つと感電しますので、絶対にやめてください。また、脱着時はケーブルを持たずコネクタ筐体を持ってください。



注意

充電中に充電器を覆ったり、上に物を載せたりしないでください。充電中は熱くなります。覆われますと放熱ができず安全の為自動的に充電停止となります。



注意

ケーブルを充電器に巻きつけたまま充電しないでください。充電器の放熱が阻害されます。

● バッテリー

60V-50AH バッテリー



充電口
端子部 3P

高電圧注意



給電口
端子部 2P

高電圧注意

● 電圧計

電源ボタンを押すごとに表示が変わります。

※使用後は必ず電圧計電源を **OFF** とし停止してください。

電圧計が稼働しますと電力が消費され最悪過放電となりバッテリー一寿命に致命的損害を与える場合があります。



警告

充電口端子部 3 P、給電口には高電圧が生じていますので絶対に指などで触れないようにしてください。特にお子様の手が届かないように注意ください。感電による重大な事故の可能性があります。



警告

バッテリーには雨水、高圧洗浄水などかからないようにしてください。水影響により発火、破裂による重大な事故の可能性があります。



警告

バッテリー交換はモービルジャパン又は取扱店にご用命ください。感電による重大な事故の可能性があります。



注意

損傷、劣化しているバッテリーは使用しないでください故障の原因となります。



注意

使用済みバッテリーの処分はモービルジャパン又は取扱店にご依頼ください。

● 充電器



LED

車体に同梱されています。最大 DC71.4V 出力側は 3 極、AC 入力側は 2 極で AC100V が充電器に電源が供給されますと「LED」ランプが緑色に点灯します。

充電が始まりますと内蔵冷却ファンが回転し「LED」ランプが赤色に点灯します。

充電が完了しますと「LED」ランプが緑色に点灯します。



警告 充電器は専用品ですので接続コネクタが一致しても他の電気製品には絶対使用しないでください。逆に他電化製品のコネクタが一致しても本製品には絶対使用しないでください。破損や火災の原因になります。

また水没させたり雨中に放置したりしないでください。水が入り込んだと思われる場合はモービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店までご連絡下さい。



注意 充電器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。



注意 ケーブルを充電器に巻きつけたまま充電しないでください。充電器の放熱が阻害されます。



注意 充電中は充電器が発熱しますので充電器を樹脂、ビニールの上に乗せて充電しますと熱影響により永久変形する場合があります。充電器をフロアステップ、座席の上に乗せて充電しないようにしてください。



警告

充電コード、プラグなどは電気製品ですので、差し込む際に濡れた手などで持つと感電しますので、絶対にやめてください。また、脱着時はコードを持たずプラグの先端を持ってください。

● タイヤ

- タイヤ溝深さをデプスゲージ等で測ります。規定値（5mm）
以下の場合には交換して下さい。
測定は販売店等に相談して下さい。

前輪、後輪
タイヤサイズ
3.0-10



タイヤの摩耗
状態を表示

- タイヤ空気圧 前輪、後輪共に 250Kpa (2.5 Kgf/cm²)

● ブレーキ

ブレーキのききが悪くなりましたらモービルジャパン又はモービルジャパン取扱店にて点検して下さい。



警告

ご自身の知識、力量に合わせた範囲内で点検整備を行って下さい。難しいと思われる場合はモービルジャパン又はモービルジャパン取扱店にご依頼ください。

● 保管

- お車は出来るだけ自宅の敷地内に保管し、屋外の場合は雨など濡い場所に保管して下さい。
- 大事なお車を守るには日頃のメンテナンスが重要です。
- 長期間保管する時は、必ず満充電にしメインブレーカーを「OFF」にして下さい。
- バッテリーは電源スイッチが「OFF」の状態でも、自己放電しています、一ヶ月に1~2回充電して満充電の状態にして下さい。

● お手入れ

車が汚れたときは中世洗剤で水洗いして下さい。

 **警告** 洗車をする際は高圧洗浄（水道水を含む）はしないでください。予期せぬ部分に水が回りこみ漏電、感電の恐れがあります

 **警告** ブレーキ装置に直接水をかけないでください。装置内に水が入ると、ブレーキ制動力が低下し一時的にブレーキが効かなくなることがあります。

 **注意** コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので使用しないでください。

◎ 日常点検 及び定期点検整備

電動三輪車をご使用の方の安全とお車を快適にご使用いただくため
法令により、ご使用前の日常点検と 6 ヶ月、12 ヶ月毎の定期点検整備
を行うことが義務づけられています。かならず実施して下さい。

● 日常点検

● お車を使用する人が、運転する前に実施する点検です。



日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因になりますので実施してください。異常が認められた場合は使用者ご自身又はモビルジャパン、モビルジャパン取扱店で必ず整備を行って下さい。

点検箇所	点検内容
ハンドル	緩み・ガタはありませんか？
	左右スムーズに動きますか？
スロットルグリップ	正常に作動しますか？
モーター	モーターの回転音に異常はありませんか？
ホーン	ホーンは鳴りますか？
ウインカーランプ	ランプは点灯しますか？作動音は鳴りますか？
ブレーキレバー	ブレーキは効きますか？
	レバーの遊びは適切ですか？
バックミラー	汚れ・損傷はありませんか？
ヘッドランプ	ランプ点灯しますか？
	汚れ・損傷はありませんか？
ナンバー用ランプ	ランプ点灯しますか？
座席	座席は正常ですか？
	緩み、ガタつきはありませんか？
タイヤ	亀裂・損傷はありませんか？
	タイヤの溝の深さは適切ですか？
	金属片・石等の異物がささっていませんか？
	空気圧は適正ですか？（前輪、後輪 2.5Kgf/cm ² ）

●定期点検

お車を使用する人が、自己管理責任で定期的に行う点検整備です。



定期点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因になりますので実施してください。異常が認められた場合は使用者ご自身又はモービルジャパン、モービルジャパン販売店で必ず整備を行って下さい。

定期点検記録簿				
安全の為、購入後 6 ヶ月 12 ヶ月毎にモービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店で点検（有料）を受けてください。				
OK：異常なし A：調節 △：修理 X：交換 T：締付 C：清掃 L：給油				
定期点検		3 ヶ月 点検 (無料)	6 ヶ月 点検 (有料)	12 ヶ月 点検 (有料)
点検工場				
操 作 ボ ッ ク ス	アクセルレバーの作動、戻り具合			
	スイッチの作動具合			
	コネクター接続部の緩み、損傷			
メインコン トローラー	コネクター接続部の緩み、損傷			
モーター	回転・異音			
	コネクター接続部の緩み損傷			
バッテリー	ターミナルの締め付け・腐蝕			
	コネクター接続部のガタ・損傷			
充電器	充電機能			
	コネクター接続部のガタ・損傷			
	ランプの点灯			
	コードの損傷			
	ファンの回転・異音			

ブレーキ	手動ブレーキレバーとストッパーのすき間			
	手動ブレーキレバーの遊び			
	ブレーキランプの点灯			
	手動ブレーキのきき具合			
	ブレーキケーブルの緩み・損傷			
	ディスクブレーキパッド、ローターの摩耗具合			
ハンドル	ハンドルの操作具合・緩みガタ			
	左右の操舵角度			
	ステアリングシャフトの取り付け具合損傷			
	ステアリングシャフトの軸受部のガタ、ストッパーの損傷、サビ			
シート	取り付け部の損傷			
	表皮の変形・摩耗			
	座席の汚れ及び損傷			
タイヤ	タイヤの溝深さ・異常摩耗			
	空気バルブの損傷			
	空気圧の適正			
	タイヤの亀裂・損傷			
ホイール	ホイールの損傷			
	ボルト・ナット類の緩み			
サスペンション	サスユニットの損傷			
	サスペンションの作動具合			
ワイパー	ゴムの磨耗、作動具合			

● 困った時は、こんな時は

困った時	
症状	チェックポイントと対応策
発進しない	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ブレーカーが「OFF」になってませんか？ ↓ 電源スイッチを「ON」にしてください。
	バッテリー残量が 60V 以上ありますか？ ↓ バッテリーの充電を行ってください。
	駐車ブレーキは解除してありますか？ ↓ 駐車ブレーキを解除してください。
走行中にモーターが止まった	バッテリー残量が 60V 以上ありますか？ ↓ バッテリーの充電を行ってください。
	温度保護機能が作動していませんか？ ↓ 電源スイッチを「OFF」にしてしばらく待ってから使用してください。
充電できない (充電してもバッテリー残量が増えない)	電源、充電プラグはしっかり接続されていますか？ ↓ プラグをしっかり接続してください。
充電器が熱くなる	充電中に充電器は多少あつくなります。 手で触れられない程熱い、コゲ臭いにおいがする ↓ 直ちに電源、充電プラグを抜き使用を中止しモービルジャパン又は取扱店にお問い合わせください
その他	その他正常でないと思われる時には、モービルジャパンもしくは、モービルジャパン取扱店にお問い合わせ下さい。

● 諸元表

主要諸元表	
形式	海神 E T B
長さ	184cm
幅	70cm
高さ	114cm
本体重量	(空車重量) 98Kg
乗車定員	1(2)人
モーター	800W × 2 ヶ
バッテリー	60V-50AH-1 式
	リチウム
充電器	AC-110V／DC-71.4V
前 輪	3.0-10
後 輪	3.0-10
駆動方式	インホイールモーター
制動方式	前輪 油圧式ディスク×1 式
	後輪 油圧式ディスク×2 式
連続走行距離	100km
	(気温 25 度の測定値です)
最小回転半径	1500mm

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

保 証

1. 保証の内容

お買い上げいただいた弊社製造のお車を構成する各部品に材料又は構造上の不具合が起きた場合、保証書に示す、期間と条件に従って、これを無償修理いたします。(以下この無料修理を保証修理といいます。) 保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお取り外した部品等は弊社の所有となります。

2. 保証期間

保証期間	販売店からお買い上げ日又は登録日から1年間もしくは 走行距離 5,000Km以内 バッテリーに関しては、6ヶ月
------	---

保証対象部品	車両を構成する全部品、ただし下記を除く ・ 消耗部品および油脂類 ・ 別扱い保証の部品
--------	---

下記の消耗品の交換は、実費を頂きます。

ブレーキパッド・ブレーキシュー・ランプ・バルブ類・ヒューズ
モーター類のブラシ・ワイパーブレード・パッキン類・ゴム類などこれに類するもの。

3. 別扱い保証

次に示す部品は、この保証書とは別にそれぞれの部品メーカーが定めた保証基準に従って保証されます。お買い上げいただいたモータービルジャパンもしくはモータービルジャパン取扱店にご相談下さい。

① タイヤ・チューブ ② アクセサリー用品等

4. 保証できない事項

1 次を示す事項は保証修理致しません。

- ①保守、整備の不備又は間違いに起因する不具合
- ②取扱説明書に示す取扱い方法と異なる使用及び弊社が示す使用の限度（最大積載量・乗車定員・その他）を超える使用に起因する不具合
- ③法令に違反する改造及び弊社が認めていない改造（車高の変更・灯火器の減、増設・バッテリー容量の変更など）に起因する不具合
- ④レース・ラリー等による酷使あるいは一般に車が走行しない場所での走行に起因する不具合
- ⑤純正部品及び指定する油脂類以外の使用に起因する不具合
- ⑥時の経過で発生する不具合（塗装面などの自然退色・メッキ面などのサビ・その他）
- ⑦機能上影響の無い感覚的な現象（音・振動・オイルのにじみなど）
- ⑧地震・台風・水害などの天災、事故及び火災に起因する不具合
- ⑨煤煙・薬品・鳥糞・塩害などに起因する不具合
- ⑩後記5の『お客様にお守りいただく事項』を守らなかったことに起因する不具合

2 次に示す費用は負担いたしません

- ①法令に定められた継続検査に伴う点検整備の費用
- ②点検・清掃及び法令で定められた定期点検整備の費用
- ③モービルジャパンおよびモービルジャパン取扱店以外での修理費用
- ④使用により消耗した部品及び油脂類等の交換補充の費用
- ⑤お車を使用できなかった事による不便さ及び損失など（電話代・レンタカー代・休業補償・商業損失など）
- ⑥この保証書に示す以外の費用・補償など

5. お客様にお守りいただく事項

お車を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ず守ってください。

守られていない場合には、保証修理をお断りすることが有りますので、ご承知下さい。

- ①取扱説明書に示す取扱い方法に従って使用すること
- ②日常点検を実施すること
- ③法令及び弊社の指定する点検整備を実施すること

④定期交換部品、及び油脂類などを指定どおりに交換すること

6. 保証の発行

保証書は、お買い上げいただいたモービルジャパン及びその取扱店が保証登録書に必要事項を記入し、捺印することにより有効となります。

7. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お車とこの保証書をお買い上げのモービルジャパン及びモービルジャパン取扱店へお持ち下さい。

これにより保証修理を致します。提示されない場合は、保証修理いたしかねます。

8. 保証の適用

保証書は、日本国内で販売し使用されるお車にのみ適用いたします。従って海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りとなります。

保証書は、本書に示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものです。

従って保証期間経過後に発生した不具合については、この保証書に基づく保証修理の適用はありません。

ただし、保証期間経過後の不具合が使用損耗あるいは、経時変化によるものではなく、供給者側の責任に起因する場合には、その責任に応じて修理を致しますので、ご不明な点が有りましたならお買い上げのモービルジャパン及びモービルジャパン取扱店（または弊社ご相談窓口）にご相談下さい。

保証について

保証修理

材料上あるいは製造上の不具合が発生した場合には、無償で修理させていただきます。

保障期間中に発生した修理等で掛かる工賃等について、モービルジャパン及びモービルジャパン取扱店で行う場合は無償となりますが、他店で行った場合の工賃等は保証出来ませんのでご了承下さい。

尚、保証修理期間中の無償修理の場合でも、車両の送料、又は出張費用等お客様のご負担となる場合があります

下記の消耗品の交換は実費を頂きます。

ブレーキパッド、ブレーキシュー、ランプバルブ類、ヒューズ、モーター類
のブラシ

ワイパーブレード・パッキン類、ゴム類などこれに類するもの

下記の油脂類の補充、交換は実費を頂きます。

ブレーキフルード、グリス、バッテリー液、ラジエーター液、その他の潤滑油
などこれに類するもの

保証修理の受け方

- 1 保証修理をお受けになるときは必ず保証書をご提示下さい。提示がない場合は保証修理を致しかねます。
- 2 お買い上げのモービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店に保証修理をお申し付け下さい。ただし、お申し付けになる前に保証書の内容（特に保証できない事項）を良くお読み下さい。

9. 3ヶ月無償点検

販売店からお買い上げ日又は登録日より3ヶ月経過しましたら3ヶ月無償点検を受けることができます。

3ヶ月無償点検を受けられる期間

：販売店からお買い上げ日又は登録日から3ヶ月～6ヶ月

「1」～「9」「保証について」「保証修理の受け方」に準じます。



rev:20250521

